

平成20年第3回定例会一般質問

平成20年第3回市議会定例会の一般質問が次の日程で行われます。

日時 9月4日(木)・5日(金)・8日(月)・9日(火) いずれも午前10時から

質問内容 下表のとおり

問合先 議会事務局(電話 042-387-9947)

9月4日(木)

氏名	発言の表題
露口哲治	<p>1 糞害について問う。</p> <p>(1) 都条例には動物愛護推進委員制度があり、動物の愛護や保護と、糞拾い・清掃などがある。小金井市では糞害に関する条例の実行にあたって、このような制度はあるのか。市民との協働による糞害撲滅の手段を考えないか。</p> <p>(2) 小金井市まちをきれいにする条例で、糞置き去りについても行政罰2千円を加えるべきではないか。</p>
	<p>2 古紙類など資源物(有価廃棄物)の持ち去り規制をすべき。</p> <p>(1) 委託収集されている資源物(古紙・布・ビン・空き缶・ペット)の処理経過について問う。</p> <p>(2) 資源物の売却価格は他市と比べ適切に処理されているか。</p> <p>(3) 家庭から出された古紙類など有価廃棄物の持ち去り規制を始めるべき。</p>
高木真人	<p>1 小金井市農業振興計画(改定版)について。</p> <p>(1) 小金井市農業の将来像とは。</p> <p>(2) 魅力ある農業振興策とは。</p> <p>(3) 農業を通じた市民との交流とは。</p> <p>(4) 計画の実現へ向けて。</p>
	<p>2 江戸東京野菜からのまちおこしについて。</p> <p>(1) 水湧く(みわく)プロジェクトの成果は。</p> <p>(2) 水湧くプロジェクト構想の成功戦略とは。</p>
	<p>3 農業振興計画と水湧くプロジェクトの共通点は。</p> <p>(1) 援農塾、農業塾の具体策について。</p> <p>(2) アグリステーションの設置について。</p> <p>(3) 農産物のブランド化について。</p>
宮崎晴光	<p>1 小金井市の観光資源を活用した商業振興を。</p> <p>(1) 小金井市は多大な観光資源を有しているのではないのか。</p> <p>(2) さくら祭り、スリーデーマーチ、市民祭り等のイベントは小金井市商業振興に有効にいかされているか。</p> <p>(3) 小金井市観光協会との協働の強化による波及効果をいかせ。</p> <p>(4) 小金井市商工会・観光協会・農業団体との日常的な協働により、小金井を訪れる市外の客の取り込みを図るには。</p>
渡辺大三	<p>1 新ごみ処理施設は「非焼却」方式にすべき。</p> <p>(1) 府中市・調布市の動向は。</p> <p>(2) 「二枚橋」答申の解釈は。</p> <p>(3) 処理方式について。</p> <p>(4) 受け入れ地域の負担感の緩和について。</p>
	<p>2 武蔵小金井駅南口再開発について。</p> <p>(1) 駅前ロータリーの段階的整備について。</p> <p>(2) 第1地区の状況について。</p>

	<p>(3) 第2地区の状況について。</p> <p>3 C o C oバス6番目のルート「北西部循環」の実現を。 (1) 貫井北町・桜町・本町で100円バスの運行を。 (2) 学芸大学構内道路の運行を（国分寺駅利用者を武蔵小金井駅利用者に転換）</p> <p>4 なぜ「前原坂上」「貫井北町1丁目」の交差点名表示が消えたのか。 (1) 新信号機設置の際に表示が撤去される不思議。 (2) 同様の事例は市内にどのくらいあるのか。 (3) 都に作業手順の改善を求めるべき。</p>
野見山修吉	<p>1 ベビーカー、車イス、誰もが使いやすい新小金井駅を。 (1) ホームにスロープを。 (2) 駅そばの踏み切りの坂を緩やかに。 (3) 駅前広場の囲いを取り、イベントができやすいような環境整備を。 (4) 駅前駐輪場にトイレの設置を。</p> <p>2 ガイドヘルパーをもっと使いやすく。 (1) 月30時間の制限を改め、3ヶ月、または6ヶ月の範囲で使えるように。 (2) 利用を高めるために、市・都・国ができること。</p> <p>3 21世紀の公民館のあり方について教育長の考えを問う。 (1) これまでの学習・文化という柱の他に、地域力を育てるために地域づくりという柱をすすめることについて。 (2) 市民活動の支援と社会教育分野での支援との違いを踏まえた方針について。 (3) 公民館職員は一般職でなく、専門職として確立することについて。 (4) 公民館運営方針を尊重し、その実現のための体制について。</p>
宮下誠	<p>1 高齢者向けの運動プログラムを拡充し、市民の健康長寿のための施策推進を。 (1) 介護予防元気プログラム（介護福祉課）や、各種スポーツ教室（スポーツ振興課）を拡充し、希望するすべての高齢者がより気軽に参加できるようにしないか。 (2) プログラムに「背骨コンディショニング」を導入しないか。 (3) 小・中学校の体育館や校庭、空き教室を利用できないか。</p> <p>2 地球環境問題へのより積極的な取り組みを。 (1) 公共施設の省エネ化に向けて、使用している照明を全て省エネタイプへ切り替えていかないか。 (2) 先進市の取り組みを参考にして、小金井バージョンのエコポイント制度を更に充実させないか。</p>

9月5日（金）

氏名	発言の表題
鈴木洋子	<p>1 多様な市民ニーズに的確に応えるために 日頃、小金井市に要望したいこと、意見を言いたいことなど、市政全般にわたり市民に評価してもらおうとともに、より良い市民サービスの向上を図るために、年に1度、市政に関する市民アンケート調査を実施しないか。</p> <p>2 更なる安心安全な街づくりを 各担当部局が定期的に市内を見回るなどして、街灯設置状況、ミラーの設置状況、児童公園の管理、街路樹・遊歩道等の状況管理等、市民が安心して住める街に更なる取り組みを求める。</p> <p>3 自転車のマナーの徹底を 信号無視や歩道をスピードを出して通る、夜間でも無灯など、自転車のマナーが悪いことで起きる事故を減少させるために、自転車に乗る人のマナーの徹底の取り組みをしてほしい。</p>
紀由紀子	<p>1 認知症の家族への支援の拡充を。 (1) 認知症の実態を把握しているか。 (2) 認知症の相談の対応は、どのようにしているか。</p>

	<p>(3) 認知症サポーターの養成状況は、どうか。</p> <p>(4) 認知症の早期発見の取り組みについて。</p> <p>(5) 認知症の家族への支援の拡充。</p>
	<p>2 新たな視点での子育て支援の拡充について。</p> <p>(1) 子育て支援は、進んでいるか。</p> <p>(2) 子育て世代を応援する利用券を配布する制度「すくすくカード事業」を実施しないか。</p>
五十嵐京子	<p>1 市民活動センターの設置に向けて。</p> <p>公共施設の再配置を検討するなかで考えていくというのが市の方針だが、場所を決めることと、機能をどうするかという課題があると思う。特に後者の件に関連しては、その後の行政と市民との協働を進めるためにも丁寧にすべきと考える。</p> <p>(1) 現状の検討状況は。</p> <p>(2) 市民活動の対象はどのように考えるか。</p> <p>(3) 事前のアンケート調査実施などの考えは。</p> <p>(4) 庁内の体制は、担当課だけで良いか。</p>
和田茂雄	<p>1 介護サービスの充実・再生のために（第2弾）</p> <p>(1) 介護保険の運用面で適正に実施されているか。</p> <p>(2) 介護給付の適正化にどのように取り組んでいるか。</p> <p>(3) ケアプランのチェック体制はどうなっているか。</p>
	<p>2 小金井市テニスコート場の早期の改善を求める。</p> <p>(1) 7面あるコートの実態を把握しているか。</p> <p>(2) パッチワーク状になっているコート面の張替えを早期に実施するよう求める。</p>
	<p>3 子どもが元気に育つ小金井市にするために。</p> <p>スタジオジブリから提供されたイメージキャラクターを全職員が身に着けてアピールをしてはどうか。</p>
水上洋志	<p>1 子育て支援の拡充を求める。</p> <p>(1) 子ども家庭支援センターの充実を。</p> <p>① 児童虐待などの現状と対策強化を。</p> <p>② 子育て支援体制のさらなる拡充を求める。</p> <p>(2) 中学校3年生までの医療費の無料化の実現を。</p> <p>(3) 幼稚園入園金への補助を行わないか。</p>
	<p>2 危険家屋・ブロック塀などへの対策の検討を。</p>
	<p>3 小金井公園正門付近への人道橋の設置について。</p>
漢人明子	<p>1 近隣バイオ施設の実態把握と対策を</p> <p>(1) 米軍府中基地跡地（府中市浅間町）に移転・建設が計画されている国立医薬品食品衛生研究所は危険度の高い「P3」施設である。計画の詳細を把握し、対応を検討するべきではないか。</p> <p>① 国、衛生研究所および府中市に説明を求め、実態や現状を早急に把握し、安全性の検証を求めること。</p> <p>② 1997年のWHO世界保健機構の勧告に従い、バイオ施設の法的規制を行うよう、国に求めないか。</p> <p>③ 市民への情報提供と説明を行うこと。</p> <p>④ 建設計画が進む場合は、小金井市も市民の安全を守るために地域協定等の協議に参加し、関係機関が把握した情報の共有や市民への公開、的確迅速な対応に努めること。</p> <p>⑤ 災害等非常事態が起きた場合の対策を検討し、市民に示すこと。</p> <p>(2) 市内および周辺自治体のバイオ施設の実態は把握しているか。</p>
	<p>2 総合評価入札制度の導入の見通し、考え方について。</p> <p>(1) 総合評価入札制度の導入が進まない理由はなにか。</p> <p>(2) 建設省、総務省からの推進指導や実施マニュアルについて。</p>

- (3) 環境配慮、福祉的取り組み（障害者雇用、母子家庭支援）などの政策的な加点を。

9月8日（月）

氏名	発言の表題
青木ひかる	<p>1 リース庁舎の早期解消を。</p> <p>(1) 「絵にかいた餅」駅前庁舎計画をうたい文句に、この間どれだけの税金が無駄にされてきたか。</p> <p>(2) 貸し手お任せであるがために、こんなに高い共益費。</p> <p>(3) 賃借再更新で「なし崩しの5年延長」に反対する。ジャノメ跡地への自前庁舎計画を確立し、リース庁舎の延長期間は最短にすべきだ。</p> <p>2 震災への備えについて。</p> <p>(1) 首都圏の大震災は必ず来る。行政の責任として、震災時のトイレの対応を万全にすべき。</p>
村山秀貴	<p>1 道路交通法改正に伴う市の取り組みについて問う。</p> <p>平成20年6月1日に改正道路交通法が施行された。改正内容を正確に市民に伝える必要があると考える。</p> <p>(1) 自転車対策について</p> <p>① 自転車安全利用五則について、市内小・中学校での交通安全に対する取り組みは？</p> <p>② 乗車用ヘルメット着用努力義務の導入について、周知・啓発を軸とした誘導施策を実施するべき。また、ヘルメット購入費の支援（補助・貸与）はできないか。</p> <p>③ 地域交通安全活動推進委員（交通ボランティア）や交通安全協会との連携はどのようになっているのか。</p> <p>(2) 高齢者と聴覚障害者の利用者について</p> <p>① 市内への改正内容の周知はどのように考えているか？</p> <p>② 小金井市バリアフリーのまちづくり基本構想のめざす将来像。「心のバリアフリー」やユニバーサルデザインを学校教育の中で行なってみたらどうか。現状について。</p>
関根優司	<p>1 介護保険制度改定にむけて。</p> <p>(1) アンケートなど、現状の利用者・施設運営者の声をどうつかんでいるか。</p> <p>(2) 05年度改定時に指摘された問題点は怎么样了か。</p> <p>(3) 小金井市の事業計画の総括は怎么样了か。</p> <p>(4) 来年度の改定に向けて、どのような検討をしているのか。</p> <p>(5) 保険料値上げをせず、減免制度の拡充を。</p> <p>2 よりよいマンションライフのために。</p> <p>(1) これまで指摘されてきた問題点（ごみ、水道、税金の減免、大規模修繕の補助、耐震診断の補助、バリアフリー化、担当課の強化）の検討状況は。</p> <p>(2) マンション実態調査を行なわないか。</p> <p>(3) 行政としての管理組合への援助・相談を、「技術的知識的な援助」のみでなく、コミュニティ形成の視点も持って行ったらどうか。</p>
斎藤康夫	<p>1 新ごみ処理施設は非焼却方式とすべきである。</p> <p>(1) 焼却・非焼却施設の比較。</p> <p>① 環境負荷</p> <p>② 生成物の処理</p> <p>③ 敷地面積</p> <p>④ イニシャルコスト</p> <p>⑤ ランニングコスト</p> <p>(2) どのような処理方式があるか。</p> <p>① 加水分解</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ② 炭素化 ③ バイオガス化 ④ 肥料化
	<p>2 裁判員制度スタートに向けて。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 裁判員制度とは。 (2) 小金井市の役割について。 (3) 裁判員の候補者に選定されたら。 <ul style="list-style-type: none"> ① どのような事件を扱うのか。 ② 辞退できる要件は。 ③ どのくらい拘束されるのか。 ④ 何をするのか。 ⑤ どのような義務があるのか。 ⑥ 判決に裁判員の名前は載るのか。 ⑦ 個人情報保護されるのか。
	<p>3 心に悩みを持つ市民が相談できる総合窓口設置を。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) こころに悩みを持った人は内にこもる傾向があるので、相談しやすい雰囲気を作る、わかりやすい広報をするなどの工夫が必要である。 (2) 各種に分かれた現行の相談窓口はわかりづらい。相談内容は「税金相談」のような明確な悩みだけではない。各課に相談窓口はあるが、こころの悩みなどの相談窓口はどこに相談したら良いのか。 (3) 「悩みがあったら、先ずここに」どのような悩みをもつ市民でも相談できる総合窓口を設置すべき。総合窓口の相談員は単なる交通整理役ではなく、専門家のカウンセラーを配置し、初動段階から丁寧な対応が求められる。 (4) 市報、ホームページ、掲示板の他に、専用チラシの配布など、わかりやすく目立つ広報をすべきである。 (5) 多種多様の相談受付ができるように、電話、Eメール、電子掲示板等の活用をし、24時間の対応をすべきである。
板倉真也	<p>1 障がい者の福祉施策の拡充を</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 障害者自立支援法施行による利用者、施設への影響把握状況を問う。 (2) 2009年度～2011年度の障害者計画・障害福祉計画には、関係する方々から、この間寄せられている要望を最大限反映させるべき。 (3) 事業所・共同作業所への家賃補助、利用料金助成を。 (4) 新体系移行によって行き場をなくす人への対応策の拡充を。 (5) 来年度の障害者自立支援法の見直しにあたり、「応益負担」や「日払い」制の廃止などを国へ求めていくべき。 <p>2 野川散策の利便性向上と安全対策を。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 野川の岸を昇り降りできる階段の増設を。 (2) 野川沿いの遊歩道と交差する車道に、信号機や横断歩道、カーブミラーの設置を。 (3) 野川沿いにベンチの増設を。

9月9日（火）

伊藤隆文	<p>1 新ごみ処理施設を安全で環境に配慮したごみ処理方法にするために問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 市民検討委員会の名称を<新焼却施設>と焼却処理を前提にしたような表現にしたのはなぜか。 (2) 広域支援から国分寺市との共同処理にスムーズに移行するために。 (3) 新ごみ処理施設での処理方法を決定するスケジュールは。 (4) ごみの減量予測とその処理量による施設規模の予測は。 (5) 処理方法の安全確保と環境負荷の基準は。 (6) 還元施設の設置基準は。
遠藤百合子	<p>1 宿泊を伴う体験学習の更なる充実を図るには。</p>

	<p>(1) 武蔵野市のセカンドスクールに学び、宿泊の延長の可能性は。</p> <p>(2) 確固たる予算的な裏付けを国や都に改めて求めていかないか。</p>
	<p>2 未就学児の子育て応援体制を整えるために、市報「キッズ」版を発行しないか。</p>
	<p>3 防災意識の更なる高揚を。</p> <p>(1) 小学校での防災訓練の有効性を。</p> <p>(2) 自主防災会主催の防災訓練で活用していたスタンドパイプを、消防署との連携の下で周知していかないか。</p>
	<p>4 薬物乱用防止を推進するために、今般の施策に感謝し尚一層の啓発を。</p>
中根三枝	<p>1 都市農業の位置づけ、課題について。</p> <p>(1) 小金井市の位置づけ、課題は何か。</p> <p>(2) 市民農園、高齢者農園の地域格差を解消する配置計画を。</p> <p>(3) 体験型農園が増えないのはなぜか。</p> <p>(4) 高遠の賃借農園の状況は。</p> <p>(5) 地産地消の拡大を図るためにＪＲ中央線高架下へ直売所を設ける。大型店舗の野菜売場（イトーヨーカドー等）へ地元の品も置けるよう市からも働きかけを。</p> <p>(6) 小学生の農業体験はジャガイモ掘りだけでなく、もっと豊かに、梨・きゅうり・トマト・にがうりなど沢山の種類の体験をさせられないか。</p>
森戸洋子	<p>1 92億円の駅前市役所建設をやめ、市民サービスの充実を最優先にして、市民の税金を使うべきではないか。</p> <p>(1) 武蔵小金井駅南口第2地区の進捗状況はどうなっているか。</p> <p>(2) 最重要課題であるごみ処理施設建設に莫大な建設費用がかかるのに、大型公共事業にまわす財源はあるのか。</p> <p>(3) 増税、原油高騰、社会保障の切捨てにより、市民生活は厳しい。市民生活を守る施策を緊急に進めるべきではないか。</p>
	<p>2 東部地域の環境整備と市民サービス向上について。</p> <p>(1) 調布飛行場の騒音問題とジェット化の動きについて。</p> <p>(2) 栗山公園の整備について。</p> <p>(3) 東小金井駅高架下の市役所出張所の設置の進捗状況について。</p>
小山美香	<p>1 電磁波の被害から身を守るための施策を。</p> <p>電磁波は身の回りに溢れているが、そのリスクがあまり知られていない。リスクを正確に知って回避するためにも、周知と市の対策が求められる。</p> <p>(1) 身近にある電磁波の認識について。</p> <p>(2) 暮らしの中の電磁波から身を守るための周知を。</p> <p>(3) 携帯電話中継基地局の設置には、市への届出と近隣住民への説明・合意を義務付けないか。</p>
	<p>2 環境自治体会議に小金井市も参加を。</p> <p>全国63自治体（2008年8月4日現在）が加盟する環境自治体会議は、1992年の設立以来、毎年全国大会を開催して宣言を行っている。今年で16回を数えるが、環境に関する情報ネットワークを持ち、複雑化・多様化する環境問題の情報・政策を共有しながら環境自治体づくりを目指す「環境自治体会議」の会員にならないか。</p>